

相原信作 あいはらのぶ 哲學者。明治二十七年九月、二十四日京都生れ（一九〇四一）。昭和二年京都帝國大學文學部哲學科卒。第二高等學校・東海大學・大阪大學各教授歴任。

譯書、ナトルプ著『人・教師及び學者としての人・教師及び學者としての』（昭和二年

十一月）二十日岩波書店「哲學論叢」）、同『體系の見地から見た體系の見地から見た』（昭和二年

一への）哲學行業績』（昭和五年六月）二十日岩波書店「哲學論叢」）、

ランケ著『強國論』（昭和十五年一月）二十日岩波書店「岩波文庫」）、

同『政治問答他一篇』（昭和十六年一月）二十日岩波書店「岩波文庫」）、

同『世界史概観』（鈴木成高共譯、昭和十六年十一月）二十日岩波書店

「岩波文庫」）等。著書『西田寸心先生片影』（合著・高山岩男編、

昭和二十四年一月）十五日愛知・黎明書房）、『哲學人名辭典』（昭和

二十六年六月）二十日弘文堂「アテナイ文庫」）等。

